

ほっく 平泉寺こぼれ話 ～第29話～
これは何でしょうか？



平泉寺からの出土品です。

ヒント

- ①. 木を加工してつくられています。
- ②. スプーンのような形をしています。
- ③. 全長は約45cmです。
- ④. 平成元年度の発掘調査で、井戸内から見つかりました。
- ⑤ 平泉寺が栄えた中世の頃のものです。

答えは最下段↓

えちぜんぜんじょうどうたんぼうき
越前禅定道探訪記 その13

おはらとうげ
小原峠

雉子神の旧跡から 300 mほど登山道を登ると小原峠に至る。峠は大長山（1,671 m）と赤兎山（1,628 m）との間の鞍部にあたり、標高は 1,396 mを測る。峠から左手の尾根を登れば刈安岳を経て大長山に至り、右手の尾根を登れば赤兎山に至る。

この峠は、『越前国名蹟考』によると、「川上峠、又のぞき峠ともいう」と記されており、他に雉子上峠としている資料もある。

また、ここは白山十二宿にいう第六宿「伏拝」に相当すると考えられる。これは、この峠から白山の主峰である御前峰が間近に望むことができるからであろう（写真右）。

峠は福井県と石川県の県境になっているが、ここから石川県側に数十メートル下ると、祠と「白山禅定道 小原峠」「平泉寺壮年会」と書かれた標柱が見えてくる（写真右下）。祠の中には不動明王像1体と地藏菩薩が2体安置されているが、不動明王像は中世にさかのぼるものと推定される。

ここから白山に向かう禅定道は、西俣谷川の最上流にあたる沢を下っていったと考えられるが、現在、道は廃道になっており、古道はヤブの中に隠れてしまっている。



小原峠付近から見た白山



小原峠にある祠と標柱

答え 汁をすくうための杓子（しゃくし）です。

国史跡平泉寺の整備情報誌

平泉寺かわら版

No. 36 （2011年9月号）



【発行】 勝山市教育委員会 史蹟整備課
【発行日】 平成23年9月22日
【ご意見・ご要望は下記まで】
電 話： 0779-88-8113(直通)
メール： shiseki@city.katsuyama.lg.jp

現在、建設中のガイダンス施設



下の完成イメージ図のように全体の姿が出現！



ガイダンス施設完成イメージ図

今号の内容

【特集】

ガイダンス施設の建築状況

【連載】

平泉寺こぼれ話 第29話

越前禅定道探訪記 その13

ガイダンス施設の愛称募集

勝山市では、ガイダンス施設（総合案内施設）の愛称を募集します。誰からも親しまれる素晴らしい愛称をお待ちしておりますので、どうぞ、ふるってご応募ください。詳細は10月13日発行の市広報折り込みチラシか、10月上旬に市ホームページ（<http://www.city.katsuyama.fukui.jp>）上で発表される募集要項をご覧ください。

【応募方法】 所定の応募用紙又は、ハガキ、Eメール、FAXにて、「愛称」「愛称を考えた理由」「郵便番号」「住所」「氏名（ふりがな）」「年齢」「電話番号」を明記し上記の史蹟整備課まで応募してください。なお、応募点数は1人1点とします。

【応募期間】 平成23年10月13日（木）～11月14日（月）当日消印有効

【発表】 平成23年12月、入賞者には直接連絡。また、市ホームページ・広報等で発表。

【賞品】 採用された方には記念品（10,000円相当の図書カード）を贈呈。
応募者全員の中から抽選により10名に「1,000円相当の図書カード」を贈呈。

ガイダンス施設の建築状況

この施設は、国史跡白山平泉寺旧境内の概要や平泉寺の歴史、発掘調査の現状をわかりやすく伝える総合案内施設です。平泉寺の史跡や自然探訪など、現地へ足を運ぶための起点としての機能も持ちます。

現在、今年12月の建築工事完成、来年秋オープンをめざし、工事を進めています。

■白山信仰のコーナーでは、信仰の成立から発展までの過程を分かりやすく紹介します。

■映像ホールは最大80名まで収容できます。ここでは、大型スクリーンを利用して、平泉寺の歴史や発掘調査の状況を紹介します。

■平泉寺の歴史コーナーでは、千三百年におよぶ平泉寺の歴史を分かりやすく紹介する予定です。

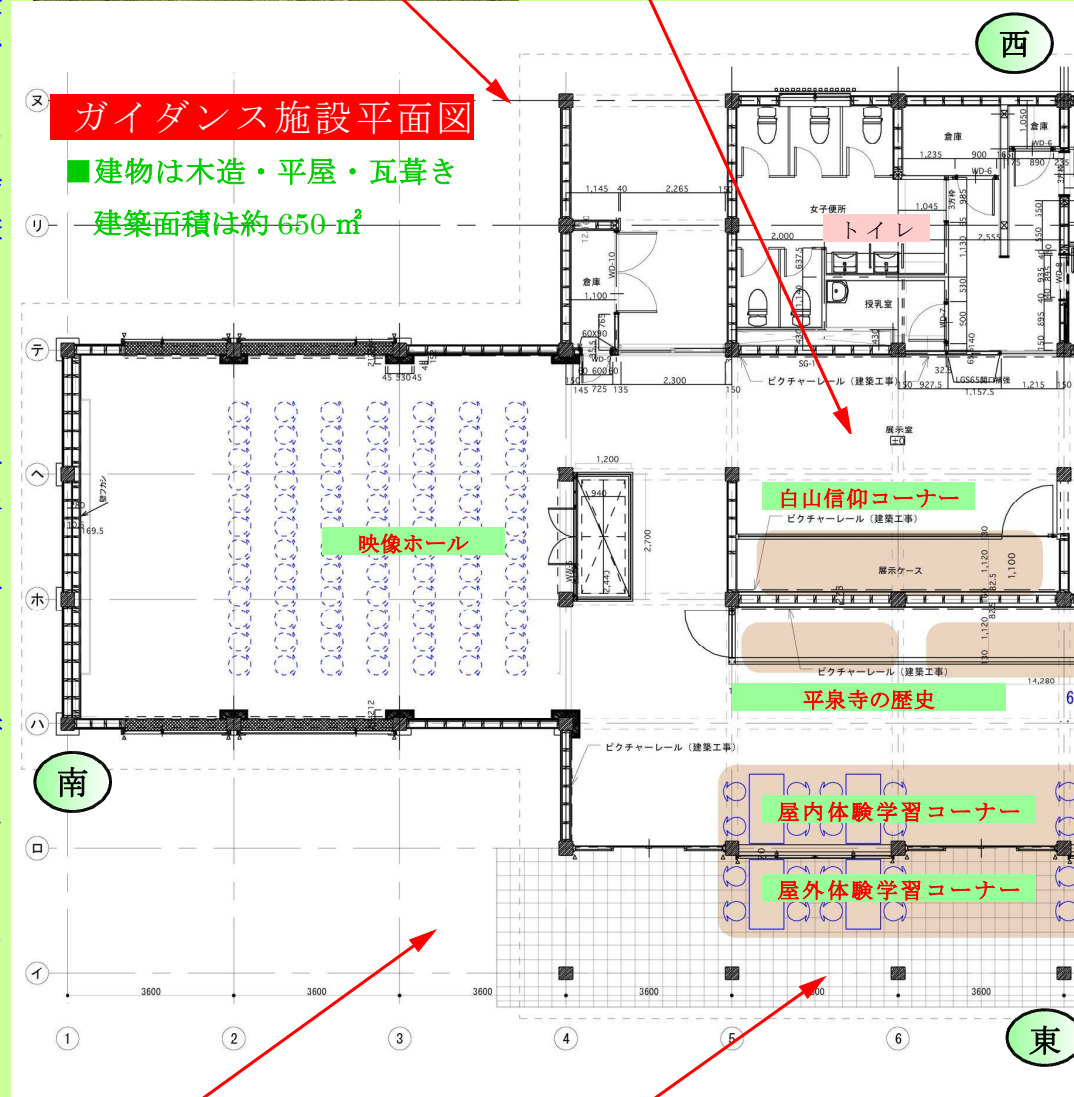
■屋内外の体験学習コーナーでは、実際に昔のモノに触れたり、つくったりすることで、モノの歴史を学習することができます。



南西方向から見た施設



白山信仰コーナー



南東方向から見た施設



屋外体験学習コーナー

建物内部のようす

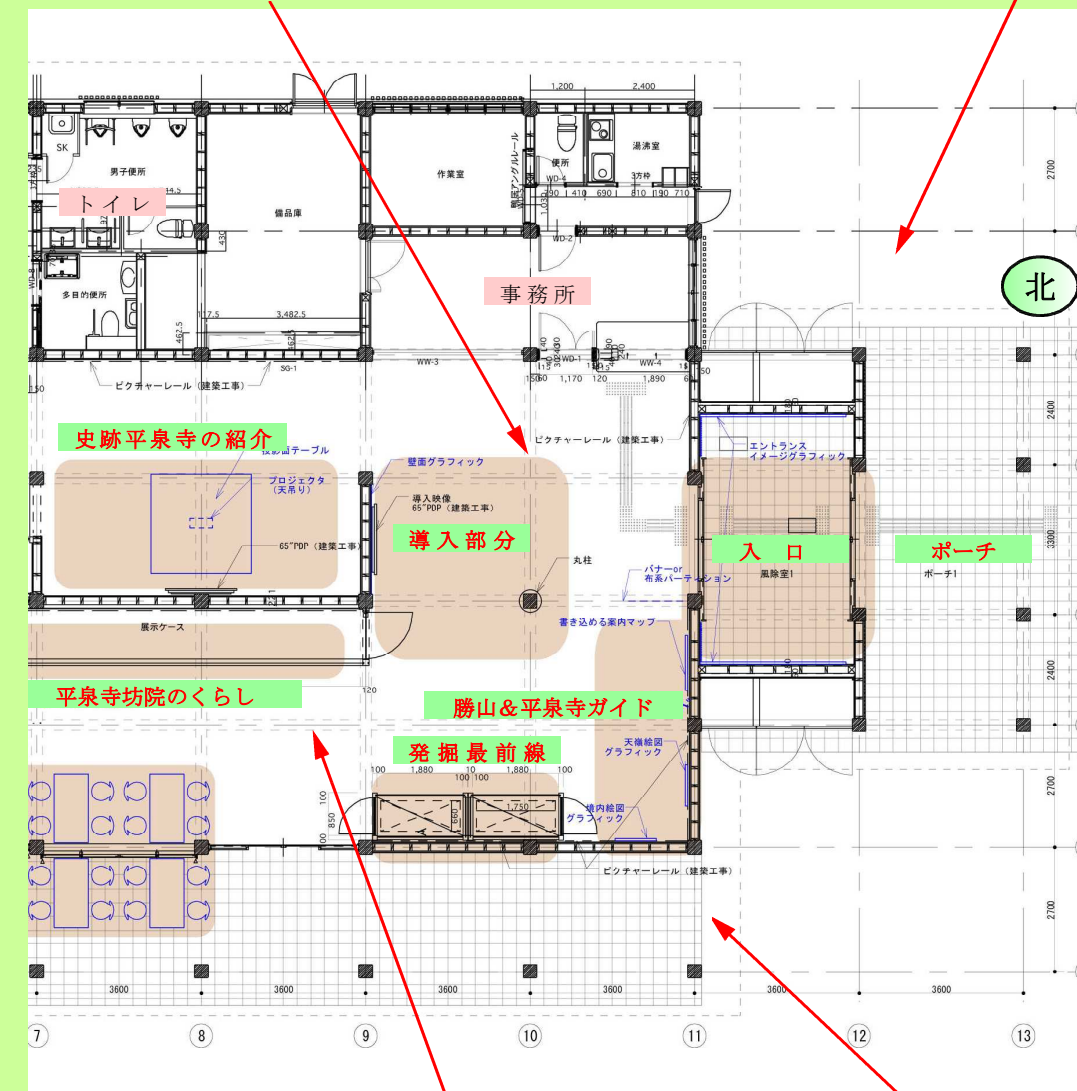
現在、建築工事の進捗率は70%ほどです。屋根や外壁はほぼ仕上がり、天井や内壁の工事もかなり進んできました。今後は、内装工事やガラスケースの設置、照明器具の設置工事等に移っていきます。また、建築工事とあわせて、展示工事の実施設計も作成中です。



入口から導入部分



北側（正面）のポーチ部分



展示の実施設計案

■建物に入ると、まず目につくのが、導入部分の正面に設置された大型テレビです。このテレビには、平泉寺を代表するすばらしい映像を写し出す予定です。

■平泉寺紹介コーナーでは、テレビやプロジェクターなどを使い、史跡平泉寺の位置や概要、全体像を分かりやすく伝える予定です。

■平泉寺坊院の暮らしのコーナーでは、発掘された建物跡や遺物などから、中世の平泉寺に住んでいた僧侶の暮らしに迫ります。

■発掘最前線のコーナーでは、最新の発掘調査の状況を速報します。

■勝山&平泉寺ガイドコーナーでは、市内のイベントや平泉寺の旬な情報を提供する予定です。



平泉寺坊院の暮らしコーナー



北東方向から見た屋外体験コーナー